

教科目名 日本語表現法 (Japanese expression)

学科名・学年 : 電気電子工学科 4年 , 機械工学科 4年

単位数など : 必履修 2単位 (通年1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教官 : 相本正吾

授業の概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文や会話の基礎知識や基礎技術を確認しつつ,実際の文章の作成や推敲の作業を通して,作文や話す・聞く力の基礎力・応用力や書く楽しみを身につけるようにしたい。</li> <li>・文章の読解も平行して行い,実用的文章の作成や文学の創作も行う。</li> <li>・小テストや査用として「常用漢字(1945字)」の書き取り読み取り・重要語句・慣用句のプリントを提供して,漢字や語句の力も身につけるようにする。</li> </ul>		
到達目標		大分高専目標 (A1)(C1), JABEE 目標(a)(f)
(1) 前期では,文章作成の基礎事項や基礎技術を確認し身につける。 (2) 後期では,決められた時間内に文章を完成させることができるような文章作成力を身につける。 (3) 後期の終盤の課題作文では採点した評価点が100点中80点以上になるようにする。 (4) 敬語表現や常用漢字(1945字)の読み書きを復習して身につけ,各種の実用文書も作成できるようにする。		
回	授 業 項 目	内 容
1	文章の作成のための基礎事項の学習	わかりやすい正確な文章,適切な表現の文章について。
2	"	句読点,各符号,仮名遣い,表記,原稿用紙の書き方について。
3	"	テニオハ,文末表現,文型,呼応,接続詞について。
4	"	各文の長さ,語順,修飾語について。
5	"	誤字脱字,取り違えて書きやすい漢字,送り仮名について。
6	"	敬語表現の復習と応用(1)
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説 文章作成までの手順の学習	手順(要旨や構成の検討・題材集め・下書き・推敲・清書)について。
9	"	段落分けと段落構成,冒頭と末部,題材,各種の文章について。
10	文章の作成(1)	レポートや要約文を作成する。
11	"(2)	評論文を書く。
12	"(3)	手紙や実用的文章の作成(1)
13	"(4)	文学(詩・短歌)や言葉の定義の創作,主な表現技巧の復習。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説 文章の推敲(添削)(1)	他の人の文章の推敲(添削)の作業を行う。
16	文章の作成(5)	与えられたテーマについて文章作成を行う。
17	文章の推敲(添削)(2)	他の人の書いた文章の推敲(添削)の作業を行う。
18	ディスカッション(1)	「話す・聞く,伝える・意見を述べる」ことの基礎について。 与えられたテーマについてディスカッションを行う。
19	文章の作成(6)	与えられたテーマについて文章作成を行う。
20	文章の推敲(添削)(3)	他の人の書いた文章の推敲(添削)の作業を行う。
21	ディスカッション(2)	与えられたテーマについてディスカッションを行う。
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説 文章の推敲(添削)(4)	他の人の書いた文章の推敲(添削)の作業を行う。
24	文章の作成(7)	与えられたテーマについて文章作成を行う。
25	文章の推敲(添削)(5)	他の人の書いた文章の推敲(添削)の作業を行う。
26	ディスカッション(3)	与えられたテーマについてディスカッションを行う。
27	文章の作成(8)	与えられたテーマについて文章作成を行う。
28	文章の作成(9)	実用的文章の作成(2),敬語表現の復習と応用(2)
29	ディスカッション(4)	与えられたテーマについてディスカッションを行う。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説 書く・話すことのまとめ	書く・話すことのまとめを行う。
履修上の注意	課題の提出は評価の大事な一部になるので,特に,宿題となる提出課題は必ず提出するようにすること。	
教科書	私家製テキスト・プリントを使用。 (テキスト・プリントは,各時期の初めや各授業時に担当教官より渡します。)	
参考図書	『最新国語便覧』(浜島書店,1~3学年次の国語で使用したもの)	
関連科目	国語,国語,国語	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の評価 = 2回の考査の平均点 × 0.8 + 提出課題の成績(20点満点)</li> <li>・学年末の評価 = 4回の考査の平均点 × 0.7 + 提出課題の成績(30点満点)</li> </ul>	